

## 平成23年度評価表 長野県松本筑摩高等学校定時制課程 夜間部

## I 教育目標

学校教育方針	中・長期目標
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神のもとに、 1、知性の涵養 2、品性の陶冶 3、心身の錬磨を目的とする。	「心あらたな学び直し」 「限られた時間を活かしての学び」 「働きながらの学び」 を願う人々の要望に応える教育活動を展開すること。

夜間部教育目標	中・長期目標
1、働きながら学べるというシステムを最大限に活かし、就労・生活体験をもとに自己を見つめ、将来への確固とした展望を持たせる。 2、集団に適應できる自立的訓練の場としての学校の機能を重視し、社会人としての基本となるルールや規範意識を身に付けさせる。 3、地域社会に開かれた学校づくりに努めながら、生徒と教職員がともに研鑽し、豊かな人間性を育む。	・生徒が安心して通学・学習できる環境の確立。 ・生徒の置かれた状況をきめ細かく把握し、個々の相談に応じ支援する態勢の整備。 ・学力と生活規律の基礎・基本の定着と単位修得率の向上。

## II 今年度重点目標に対する成果と今後の課題・改善策

評価値はA(充分)、B(おおむね充分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

評価の観点(到達目標)	評価	成果と今後の課題・改善策
1、基礎学力の定着と単位修得率の向上 2、進学および就職などの進路保障の一層の充実		

## III 今年度の成果と今後の課題・改善策

評価値はA(充分)、B(おおむね充分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

領域	対象	評価項目(重点目標)	評価の観点(到達目標)	評価	成果と今後の課題・改善点
教育活動	教育課程	○二期制(分割認定)に関わる課題の検討	・授業日数は確保できたか。		
		○工業科目(選択)設置に関する検討	・単位修得者は増えたか。		
		○学校設定科目の検討	・科目が生徒の実態や要望にかなっているか。		
		○教科指導の充実	・生徒が積極的に取り組んだか。		
教育活動	学習指導	○総合的な学習の時間の充実	・全職員が協力して指導したか。		
		○授業の再点検による充実・改善	・生徒が意欲的に取り組んだか。 ・授業アンケートの実施と検討会等。		
		○生徒個々人の状況把握の強化、システム	・個人カードの作成、更新。		
		○交通安全指導の実施	・通学方法を的確に把握し、安全指導に役立てたか。		
教育活動	生徒指導	○基本的な生活習慣の定着	・挨拶や上下履きの区別ができたか。		
		○進路希望調査の実施	・年次にあった希望調査をしたか。		
		○進学、就職の情報提供	・適切な情報提供ができたか。		
		○進路相談と進学、就職指導	・個別に面接・作文・小論文指導などの対応ができたか。		

教育活動	クラス運営	○生徒別の履修登録指導 ○SHR、LHR活動の充実 ○保護者懇談の充実	・単位修得の実態に即し、個別に対応できたか。 ・クラス、学年ごとの計画を立案したか。 ・保護者との連携を密にしたか。		
	生徒会等	○文化祭の発表と展示の充実 ○諸行事の運営方法の検討 ○部活動の充実	・多くの生徒が取り組んだか。 ・執行部、委員会が機能したか。 ・日常の練習、活動を効率的に行い、大会、文化祭で成果が発揮されたか。		
学校運営	研修	○職員研修の一層の充実	・「多部制・単位制」の研究が深まったか。		
	組織運営	○校務分掌の適正化	・分掌の合理的な運営ができたか。 ・合理的、効率的な活用法が実現できたか。 ・文書、データ等を効率よく管理できたか。		
	地域連携	○保護者、中学校、地域への学校公開 ○事業所・企業主との連携 ○学校評議員会との協力	・多くの人に公開でき、理解を深められたか。 ・事業所訪問や広域活動ができたか。 ・意見交換の場を設けられたか。		

#### IV 平成23年度 学校関係者評価(学校評議員用)

学校評議員の皆様から、懇談会での職員との意見交換を行った上で、自己評価の結果について評価していただきました6人の評議員の皆様からは、自己評価が

【適切ならば1、ほぼ適切ならば2、やや不適切ならば3、不適切ならば4】とご記入いただきました。

評価の観点(到達目標)	自己評価の適切さ	改善策に対するご意見
1、基礎学力の定着と単位修得率の向上		
2、進学および就職などの進路保障のいっそうの充実		
その他、本校夜間部の教育活動についてご意見をご記入ください。		